

2024-25年度 地区メッセージ

2024年5月18日（土）

国際ロータリー第2700地区

地区研修・協議会

ガバナーエレクト 野崎千尋（小郡RC）

- ① ステファニーA.アーチックRI会長エレクトのテーマ
= *The Magic of Rotary* 「ロータリーのマジック」 =
- ② テーマ講演の理解のために
- ③ RI会長のテーマ講演から導かれる地区メッセージ
= 変化につよく、未来をひらく =
- ④ 第2700地区の目指す姿
- ⑤ 第2700地区の優先事項
- ⑥ クラブリーダーの役割

地区研修・協議会の位置付け



①目的・・・

- * 次期クラブリーダーが役割に備え、クラブのリーダーシップチームを築けるようにする
- * ガバナーエレクト、次期ガバナー補佐、地区委員会に、クラブリーダーシップチームの意欲を高め、協力関係を築く機会を提供する

②参加者・・・

クラブ会長エレクトから次年度に指導的役割を務めるよう指名を受けた会員

③セミナーの構成要素・・・

R I テーマ、役割と責務、方針と手続き、年次計画と長期計画

2024年 国際協議会 1月7日～11日 フロリダ州



2024-25 テーマ講演

ステファニーA.アーチック 氏



～ポリオ根絶を強調～

- * 数週間後にパキスタンを訪問、女性ヘルスワーカーを激励する
ポリオ根絶が最優先事項であること → 認識向上と資金調達
- * ロータリーの行動計画“Action Plan”
そこからロータリーのマジックが始まる
分断された世界を癒やすには、そのマジックが必要
- * 世界の武力紛争の増加、これに対するPositive Impactを与えるためにベストを尽くすことの重要性

2024-25 テーマ講演 ステファニーA.アーチュク 氏



～継続と変化のバランス～

- * そのためには組織としての変化が必要
不安を感じるかも知れないが、共に変化すれば不安も和らぐ

野崎は1935年のポール・ハリスの講演の一節「世界は絶えず変化しています。そして私たちは世界とともに変化する心構えがなければなりません。ロータリーの物語は何度も書き替えられなければならないでしょう」と重なりました

- * 行動計画の推進者 (Action Plan champions) となってほしい
行動計画の継続性 (continuity in the Action Plan)

2024-25 テーマ講演

ステファニーA.アーチック 氏



～ロータリー行動計画の重要性～

- * 行動計画は、クラブでの体験を魅力的なものにするためのもの
- * 地区ガバナーには影響力がある
過去50年のやり方を見直す時がきている
- * クラブの衰退、会員の減少 → **地域社会のニーズにあったクラブ**
クラブ会員の意向、入会候補者との対話
⇒ **新しい形での新クラブの結成**

2024-25 テーマ講演 ステファニーA.アーチュク 氏



～DEI+Belonging（帰属意識）の重要性～

* DEIを受け入れ、行動志向の次世代の人たちをオープンな心で迎えて欲しい
共通の目的のために結束する

それにより、ロータリーは時代に即した存在になることができる

さらに、クラブの魅力を伝える語り部（storytellers）により、積極的平和を広げていく

～平和構築は最優先事項の一つ～

* イスタンブールバーチェシエヒル大学に平和センターを新設

2025年2月 ロータリー会長平和会議

「分断された世界を癒やす」をテーマに実施する

2024-25 テーマ講演

ステファニーA.アーチュク 氏



～私が最も好きな平和構築の手段が「四つのテスト」～

* 全てのロータリー会員が単に四つのテストを唱和するのではなくそれを真に実践していれば、世界はよりよくなるでしょう

* 平和を世界に広げるには、まず自分自身の中に平和を見出さなければならない

野崎はユネスコ憲章前文の「戦争は人の心に生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」を想起しました

2024-25 テーマ講演 ステファニーA.アーチック 氏 ～テーマのエピソード～



- * 数年前、ドミニカ共和国に浄水器の設置のために赴いたときの話
浄水器から透明な水が出て来るのを見た少年の1人が、私の袖をつかんで「Show me the magic again.」と言った
- * 浄水器が魔法なのではなく、安全な水を手に入れるために沢山の人が協力して活動したことが大切なこと
- * 私が少しでもその力になれたことを知って、私の人生も変わった



私たちの年度のテーマは、
The Magic of Rotary
(ロータリーのマジック)
です。

R I 会長イニシアチブ



1. 最優先課題は会員増強を図る行動計画を推進すること

* 3-Years Rolling Targets (3 年間の目標) への取組み

2. ロータリーのマジック ~クラブでの体験を魅力的なものとする~

* ロータリーの行動計画、ロータリーの強さを維持するため

3. 積極的な平和を通じて分断された世界を癒やすこと

* 4つのテストの重要性・ピースポール(平和の塔)プロジェクトの推進

4. 継続性 ~前任者や後任者と協力すること~

* クラブが取り組んで来たことやクラブに根付いていることに目を向けること

RI会長のテーマ講演から導かれること



= *The Magic of Rotary* 「ロータリーのマジック」 =

野崎は「**ロータリーのマジック（魔法）**」を入念な準備と仕掛け、想定できない変化、驚きや感動、そして周囲を明るくする、沸かせる、幸せにすることと考えました

つまり、あるべき目標とロータリーや周囲の現状との乖離を解消し**インパクト（ポジティブで長期的な変化）**をもたらす**プロセスがマジックの意味**と理解しています

RI会長のテーマ講演から導かれること



RI会長エレクトのメッセージは私へ芭蕉の「**不易流行**」(不易を知らざれば基立ち難く、流行知られざれば風新たならず)の教えと共鳴して響きました

変化は進化していくことであり、本質を保持するためのプロセスでもあります

そして変化によって影響を受ける人々の事を考慮して丁寧なコミュニケーションを交わすことを忘れてはなりません

「私たちは未来のロータリアンからも観られている」思いで、ロータリーのあるべき姿を論じなければならぬと考えます

ロータリー行動計画



私たちは世界で、地域社会で
そして自分自身の中で
持続可能な良い**変化を生むために**
人びとが**手を取り合って**
行動する世界を目指しています

ポリオ根絶まであと一歩のところまできたロータリーは、次なる課題に取り組む心構えができています。**より多くの仲間を迎え入れ、より大きなインパクトをもたらす、世界に変化を生み出すための新たなビジョンの実現に向けて、行動を起こす時が来ています。**国際ロータリーとロータリー財団のビジョンを実現するため、今後数年の活動を方向づける四つの優先事項が定められました。

ロータリー行動計画



より大きな
インパクト
をもたらす

- ポリオを根絶し、残された遺産を活用する
- ロータリーのプログラムおよびロータリーが提供する体験に焦点を当てる
- 活動成果を挙げ、それを測る能力を高める

参加者の
基盤を
広げる

- 会員基盤と参加者の基盤を広げ、多様化する
- ロータリー参加の新しい道筋を創り出す
- ロータリーの開放性とアピール力を高める
- インパクトとブランドに対する認知を築く

参加者の積極的な
かかわりを
促す

- クラブが会員の積極的参加を促せるよう支援する
- 価値を提供するため、参加者中心のアプローチを開発する
- 個人的／職業的なつながりを築く新たな機会を提供する
- リーダーシップ育成およびスキル研修の機会を提供する

適応力を
高める

- 研究と革新、およびリスクをいとわない文化を築く
- ガバナンス、構造、プロセスを合理化する
- 意思決定におけるより多様な視点を助長するために、ガバナンスを見直す

ロータリーのビジョン声明

「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能なよい変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています」



優先事項 1 「より大きなインパクトをもたらす」の目標

1. ポリオを根絶し、ロータリーの役割を強調し、ポリオのない世界のための計画を立てる
2. ロータリー財団への寄付全般を増やし、2025年までに20億2,500万米ドルの恒久基金を築く
3. クラブ、地区、国際レベルで、地域社会の調査およびプロジェクトとプログラムの測定を奨励する

2024-25年度の共同目標



優先事項2「参加者の基盤を広げる」の目標

1. クラブとロータリーファミリーの多様性、公平さ、インクルージョンを育むための活動を推進する
2. 既存の関係を強化し、ロータリーの行動計画に沿った新たなパートナーシップを築く
3. 革新的なクラブと新しい参加経路を確立し、発展させる
4. 地元と海外の地域社会におけるロータリーと会員のインパクトに対する認識と理解を高める

優先事項3「参加者の積極的なかかわりを促す」の目標

1. 会員のニーズに応え、会員維持率を高めるためにクラブを支える会員参加のためのツールを充実させる
2. 参加者、特にロータリークラブとローターアクトクラブ間の協力とつながりを強化する
3. 職業上のつながりを育み、リーダーシップスキルを養うためにロータリーを通じて提供される機会を紹介する

優先事項4「適応力を高める」の目標

1. より大きな協力と運営効率を促進するための革新的なアプローチを試行することにより、地域の適応力を支える
2. ロータリーのリーダーシップとガバナンスにおいて、多様性、公平さ、インクルージョンを支援する

2024-2025年度 地区メッセージ



=変化につよく、未来をひらく=

一人ひとりの心にあるロータリーの灯を大きく永く

- ①ロータリアンは一人ひとり異なった境遇の中で、夫々の天職を全うしながら自己の世界だけに留まらずに、何か少しでも人のために役立ちたいとの思いで生きている
- ②そのことから3,113名のロータリアンの考えや思いが尊重されて、クラブの主体性が広く許容される第2700地区の風土を維持したいと考えます
- ③私はあくまでも3千余名分の1でしかありません。皆様に夫々に尊い、一人のロータリアンとしての物語を、他に代え難い60のクラブの個性ある物語を綴って欲しいと願っています
- ④「誰であれ、人を愛する人は、ロータリアンになるポテンシャル、可能性がある」 (ポール・ハリス：1933年・ボストン大会)

出会い楽しく 例会楽しく 奉仕楽しく

- ①ロータリーの例会はその職業業務の多忙と緊張の連続の中で潜めている善意を現しにくい会員候補者及び会員の秘めたる善意を発掘し、善意に奉仕という方向付けを行い、実践へ勇気を与えることに意義があります
- ②私が入会した頃には「**入りにて学び、出でて奉仕せよ**」（1919年：国際協議会）の標語が大切にされていました。その意味でロータリーは「**人間成長の学び舎であり、奉仕の学校**」であると考えています
- ③そしてロータリーを勉強するだけではなく、ロータリーを好きになり、楽しむ境地に至る ⇒ **自分のものにする**

ロータリーを強く大きく 良樹細根 大樹深根

- ①衛星クラブの設立は地区内8クラブで実現し、国内では衛星クラブ最先進地区です。従来のローターアクトに加えて帝京大学福岡の学生を対象としたローターアクトの設立も実現。また、新しい形態のクラブ設立の調査・検討の段階にあり、**新クラブ設立準備委員会・新設クラブの支援と活性化のための「新設クラブ日本一基金」(300万円)を創設します**
- ②この20年、入会者数を上回る退会者がでる傾向が続いていました。入会者の善意の灯を守れなかった要因は幾つかありますが、帰属意識を涵養できていない事も挙げられます。ローターアクトクラブに地区活動参画の機会を広げ、衛星クラブの活動交流会の開催、新会員対象の研修会と交流会の開催に地区としてのイニシアチブを発揮します

「ひろがるロータリー、つながる話・和・環」をめざします

手を取り合って変化を作り出そう



不易流行⇒変わらない事と変わるべき事⇒継続と変化

「不易流行」の変わらない事と変わるべき事を認識し、
「継続と変化」に取り組めます

変化をマネジメントするアプローチの主軸に変化の影響を受ける人やグループを置き、丁寧なコミュニケーションを図る事と変化の目的と目標へのコミットメントを果たします

世界で、地域で良いことをしよう

- ①国際ロータリーはロータリー財団を通して「世界で良いことをしよう」のスローガンの下に世界理解、親善、平和を達成する事も使命としています。先程の3千余名分の1の物語が一人ひとりの個人の世界であれば、社会奉仕は集団・組織としての世界になります
- ②国際ロータリーとしてのミッションを果たすためには、それ相応の人的資源・財務基盤も必要になります。そのためには第2700地区の足腰を強くすることも大切です
- ③ここで申し上げる「足腰」とは言うまでもなく**会員維持と増強**であり、それによる安定的な**地区資金の確保と健全な財政の確立**、そしてロータリー財団と米山奨学会の**基金への支援・協力**であります

世界で、地域で良いことをしよう

- ④二宮尊徳は「**道徳を忘れた経済は罪悪であり、経済を忘れた道徳は寝言である**」と箴言を残しています。後段の下りを「**人的資源・財政的基盤を忘れた奉仕理念は寝言である**」と言い換える事が出来ます
- ⑤**クラブを元気づける、クラブの活性化**、これらの取り組みによって**会員基盤の強化と会員増強**につなげ、その力で**ロータリー財団、米山記念奨学会**を支援して、社会に奉仕していきましょう

優先事項 1

より大きなインパクトをもたらす

1. **ロータリー財団の支援**

年次基金寄附	一人当たり 150ドル
ポリオプラス寄附	一人当たり 30ドル

支援実現の下支えとして

ポール・ハリス・ソサエティの会員拡大	+ 15人
ポリオ・プラス・ソサエティの会員拡大	+ 30人

2. **ロータリー米山記念奨学会への寄附**

個人平均寄付額	17,000円
特別寄付者割合	36%を目指し、
国際親善と世界平和に貢献する外国人留学生を支援	

優先事項 1

より大きなインパクトをもたらす



3. **グループ単位のロータリー奉仕デーの実施**
ガバナー補佐、広報・公共イメージ委員会が協力してインターアクト・ローターアクト等へ呼びかけて実施
(7グループ×10万円=70万円)
4. **障がい者福祉・スポーツ分野の講演・卓話**
⇒ 2024年パリパラリンピック出場を目指す道下美里選手
(福岡中央エンジョイ衛星クラブ) へエール
5. **公式訪問例会は節食ランチ**
差額をロータリー財団または米山記念奨学会へ寄附

優先事項 2 参加者の基盤を広げる



1. **会員増強 年度平均3,200人 年度中3,300人 達成**

上半期に会員増強活動を集中的に行い、
新会員研修・交流会、IMでの新会員紹介へ繋げていく
「4クラブの新設・100名の会員純増」が一律的な使命

2. **「新設クラブ日本一基金」を創設（300万円）**

衛星クラブの設立、大学基盤のローターアクトの新設、
会員増強委員会の調査、検討を踏まえて設置する
「新クラブ設立準備委員会」の活動推進などあらゆる形態
のクラブ設立と設立後の活動の活性化を支援します

優先事項 2 参加者の基盤を広げる



3. オープン例会開催の継続

新会員候補者に扉を開き、会員も新たな気づきを得る場として、開催したクラブへの補助金を継続します

(30クラブ×3万円＝90万円)

4. 「豊かな自然プロジェクト・10」の継続

ロータリーのすそ野を広げるために、参加者に20%の会員以外の市民参加を要件に加えます

(10プロジェクト×10万円＝100万円)

優先事項 3

参加者の積極的なかわりを促す



- 1. 第2700地区クラブ活性化セミナー 2024年7月13日（土）**
広報公共イメージ・財団・会員増強・クラブ運営支援の4委員会
合同開催
- 2. 地区内3カ所での新会員研修・交流会**
ロータリー情報委員会と連携して開催（3カ所×30万円＝90万円）

9月28日(土)第4・5グループ 10月12日(土)第1・2・3グループ
10月19日(土)第6・7グループ 時間はいずれの会場とも16時開会
- 3. ローターアクトの地区活動への参加促進**
PETSへ地区代表、地区研修・協議会と財団セミナーへRAC代表出席を要請、ガバナー公式訪問（11月10日）、全国クラブ活性化セミナーへ地区代表の派遣参加（10万円）

優先事項 3

参加者の積極的なかわりを促す



- 4. 衛星クラブの活動交流会（議長・幹事）を2回開催**
クラブ運営支援委員会が企画・運営は支援
1回目は本日の分科会、2回目は11月・12月頃に開催
- 5. シカゴRC誕生から120年の記念イベント**
7カ所のIMでの記念講演（ロータリー情報委員会）
仮題：「ロータリーの歴史に学び、未来をひらく」

第2740地区大村RC所有のポール・ハリス記念植樹の
月桂樹5世の贈呈式を地区大会で行い、植樹を地区内
3カ所程度で実施（地区大会予算 90万円）

優先事項 3

参加者の積極的なかかわりを促す



6. **各クラブにおけるクラブフォーラム開催の推奨**
会員同士又は奉仕活動についての有益なコミュニケーションの機会

7. **カルガリー国際大会への参加登録の推進**
小郡RC国際大会推進委員会十地区国際奉仕委員会
2025年6月21日～25日：30名目標

優先事項 4 適応力を高める



1. **My-Rotaryの登録と活用の推進**（DX推進委員会）
2. **クラブセントラルを活用したクラブ優秀賞の全クラブ受賞**
⇒ 元気なクラブづくりが目的
3. **国際ロータリーの「3年間の目標」**と2025年7月スタートの
地区新5ヶ年（3ヶ年）計画を整合させながら策定
4. **地区・クラブのICTの導入支援**（DX推進委員会）
5. **適時に地区規程の見直しを行い、効果的で効率的な地区組織の運営**

「元気なクラブづくり」の原動力は 会長をはじめとするクラブリーダー



ロータリー章典10.030.クラブ会長の任務

- * 各例会を入念に立案し、開会と閉会の時間を厳守するよう配慮する
- * クラブ理事会の定例会合（少なくとも月に1回）の議長を務める
- * 任務にふさわしい人をクラブ委員会委員長および委員に任命する
- * 各委員会にそれぞれ明確な目標があり、それぞれが一貫性をもって機能するようにする
- * クラブおよび地区のロータリーのさまざまな事柄に関してガバナーおよびガバナー補佐と協力する
- * 毎年の財務確認を含め、クラブ予算の編成および会計事務の完全な履行を監督する
- * 任期が終わる前に、会長エレクトと協力して、すべての重要記録、文書、財務事項を含め、任務の引継ぎが円滑に行われるようにする

クラブリーダーの役割

“素晴らしいロータリアン”の姿



- * **高潔、寛容、親睦、学び、成長、奉仕**
- * 「ロータリーの理想」に励む人であります。そのためには、親睦と学びの場である例会に必ず出席し、寛容な心でロータリーの志を共にする者同士の仲間意識の醸成に努め、ロータリーの歴史や伝統、価値や奉仕理念を学び、職業観や人生観を深め、奉仕の意欲を高め、奉仕の心を磨き、自己と仲間の成長に励みながら、**クラブ、事業、業界、地域、社会の向上発展に貢献する会員像**を表します
- * 地区とクラブのリーダーは高潔なロータリアンを目指すための覚悟と情熱を持たなければなりません

クラブリーダーの役割

“素晴らしいロータリアン”に成長する条件



クラブ運営を担う会長とクラブリーダーの覚悟と情熱とリーダーシップのもと、

- * 多様な分野から、ロータリアンに相応しい高潔な人物を勧誘すること
- * クラブ会員が例会出席、自分磨き、仲間磨き、クラブ磨きに励み、親睦と高潔に満ちた積極的な行動をしていること
- * 親睦、学び、成長、奉仕を主体とした魅力的で価値あるクラブ運営が行われ、来てよかったと会員の誰もが思う例会が常開催されている
- * クラブ会員がロータリーの魅力や価値、会員増強の必要性を語れること
- * クラブに一体感と居心地の良さが十分にあること
- * クラブに DEI (Diversity, Equity, Inclusion : 多様性、公平性、包摂性) を大切にする Toleration (寛容、尊重、受容) の文化がある

クラブリーダーの役割 クラブ内外の象徴的存在



- * 「奉仕理念」の提唱を常に心掛け、その実践にあたっては率先して先頭を担う立場です。クラブ活動にあたっては、会長は幹事とともに「クラブ活動の目的（ロータリーの目的の推進・達成）」を常に自覚しつつ、システム化されたクラブ組織を適切に運営することが重要です
- * それだけに、例会、役員会、理事会、委員会などの準備と運営、事業の計画と進め方などについて、会長と委員長は明確な方針と戦略を持っていないてはなりません。その上で、深謀遠慮と反省を常に繰り返しながらより良きものにしていく努力が必要です
- * 言うまでもなく、これらの会合では、**会長をはじめとしたクラブリーダーは強力なリーダーシップを発揮する責任**があります

心が洗われる「会長挨拶」と「卓話」

- * クラブリーダーにとって最も大きな仕事は、会員の誰もが「今日も来てよかった」と思ってくれる例会であることです。会員は仕事で忙しい中、仕事をやりくりして例会に出席します。それは食事のためではなく、**例会に身を置きたいと思う『何か』**（先程申し上げた「善意」）があるからです。だからこそクラブリーダーにはその『何か』について、きちんと応えていくという認識と自負を持って欲しいのです
- * その『何か』とは、クラブの一体感と居心地の良さ、そして充実した親睦や学びの時間、奉仕の時間でしょう。言い換えれば、**魅力的で価値ある例会と地域社会に有益な奉仕活動**です
- * 先ず親睦の歯車を廻転させ、この動力を奉仕の歯車に伝えなければならない。
「心を求めて例会に至り、境地を得て例会を去る」ための機会づくりがクラブリーダーの役割です

ガバナーの役割 私と第2700地区チームリーダーの役割



- * ロータリー章典に**地区の役割は「ロータリークラブを強化し支援することある」と記され、ガバナーの任務は16項目列挙、換言すれば「地区内のクラブを啓発し、意欲を与える」**こと。ガバナー補佐の役割は「クラブが発展するよう意欲を引き出し、支援する」こと、地区委員会は「ガバナーが策定した地区目標を実行する」ことを使命としています
- * **ガバナー、ガバナー補佐、地区委員会に加えて小郡ロータリークラブから選出された地区幹事・会計長・副幹事団が四位一体**となって課せられた職責を全うします。私たちは60のクラブとクラブ会長へサーバントリーダーシップで臨みます
- * 私は「**One Team, Our Team 2700**」を目指して、The buck stops here (責任は野崎が行き止まり)の警句を課してリーダーシップを発揮して参ります
- * 「**ロータリーとは何？」**
⇒ **「私がロータリーです」**と一人称で語りましょう

第2700地区は

＝変化につよく、未来をひらく＝



世界一の大河でさえ

その源泉はひそやかであり

小さな泉の湧き水や雪解け水に始まる

このわずかな水の流れが野山を下るうちに
触れるものすべてに新たな生命力を与える

そのうちに小川がいくつも合流して
一つの河になり より確かで力強い流れとなる

(奉仕の世紀「国際ロータリー物語」序文より)